

# 第14回症例検討会

## case25

2022年1月17日

60代 女性

主訴：r側の耳で音が聞き取れない

医師の診断名：突発性難聴

既往症：シェーグレン症候群、高血圧症、高脂血症  
変形性股関節症

医療機関：漢方クリニック、大学病院  
近隣かかりつけクリニック

内服薬：漢方薬、リセドロン酸ナトリウム水和物錠(ベネット錠)  
メコバラミン錠(メチコバル錠)、エチゾラム錠(デパス錠)

生活歴：アルコール無 喫煙無

食事：60代一般的な食事習慣(偏り少ない)

出産歴：息子(40代)

アレルギー：スギ、ヒノキ、他

現病歴：

x年10月初旬

朝起きると右耳の聞こえが悪い事に気づく。  
ちょうど漢方クリニック受診のタイミングであったので  
受診時に相談。

30代でシェーグレン症候群を発症。  
以来、漢方クリニックに通っている。

患者が漢方医を信頼していたことや長年にわたり  
経過を診てきた医師は鍼灸が良いだろうと判断し  
鍼灸院で対応となる。

今症例は、患者の申し出と医師の判断によりステロイド不使用。

# 客観的情報

150cm未満、痩せ型

脈拍: 90回/分

血圧: 138/78mmHg

検査:x年7月

LDH264 血清アミラーゼ125(U/L) 空腹時血糖値60 mg/dL

総コレステロール値260 mg/dL

トレンデンブルグ歩行

両手指DIP関節部へベルデン結節

O(objective) 客観的情報

A(assessment) 評価

# 東洋医学的情報

証:陰虚証

寒熱:手足の冷え 燥湿:ドライアイ、口の渇き 二便:便秘気味

睡眠:遅寝遅起(主婦)、韓国ドラマ視聴、パソコン

月経:閉経

精神:体の変調に対して敏感

家庭用心電図でよく心電図を取っている

脈診:数、弦

# 治療

取穴:本治を目的として手足要穴と背部兪穴への刺鍼と点灸

標治として r 耳周り、 r 側頭部、 r 側頸部、 翳風への刺鍼

刺鍼法:補法 浅刺 置鍼 軽い撚鍼

得気:無

深さ:2mm～1cm程度

通電:無

頻度:2～3回/w

# 経過

- X年10月16日 鍼灸受療.右耳にフィルターがかかっている  
ようで聴こえない、との事.趣味の会の全国大会が  
あり、強いストレスを感じているようであった.
- 10月17日 2鍼目.食事後に動悸が出たとの事.
- 10月20日 3鍼目.聴力が戻ってきているように感じる.
- 10月23日 4鍼目.ほぼ聴力が戻ったとの事.

# 考察

- ステロイド不使用であったが経過は良好であった  
鍼灸を熟知し、患者を長年診ている医師の判断  
通常医療ではステロイド投与が第一選択であるが  
今症例では専門職セクターである鍼灸が医師と患者によって選択された。  
検査・評価・診断は医師が行い、治療法の選択は患者主体で医師と行われ  
治療は鍼灸師によって行われた。
- 経験的に翳風穴付近の硬結の左右差が強い事が多い
- 聴力検査、経過は医療機関で受けるのが望ましいが  
鍼灸院で簡便に計ることができると治療経過がわかりやすい

突発性 = 突然発症する

特発性 = 原因がわからない

本態性 = 特別な原因が見当たらない

# 文献

ガイドライン：

[突発性難聴 - 16. 耳鼻咽喉疾患 - MSDマニュアル プロフェッショナル版 \(msdmanuals.com\)](https://www.msdsmanuals.com/)

[突発性難聴について | e-ヘルスネット \(厚生労働省\)](https://www.mhlw.go.jp/e-healthnet/)  
([mhlw.go.jp](https://www.mhlw.go.jp/))